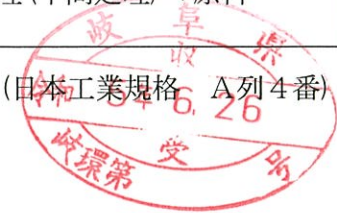


(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年6月25日	
岐阜県知事 殿	
提出者 住 所 各務原市上戸町 7-7 氏 名 カルビー(株) 西日本事業本部 各務原工場 工場長 加納 崇之 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 058-371-1311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	カルビー株式会社 西日本事業本部 各務原工場
事業場の所在地	各務原市上戸町 7-7
計画期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食品(スナック菓子)製造業
②事業の規模	2,065,659万円(2022年4月~2023年3月)
③従業員数	324名 6月21日時点
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動植物性残さ:一部脱水・破碎⇒委託処理(中間処理)⇒堆肥・飼料 汚泥:排水処理汚泥⇒脱水・乾燥⇒委託処理(中間処理)⇒堆肥 廃プラスチック類:圧縮⇒委託処理(中間処理)⇒RPF等補助燃料 木くず:切断⇒委託処理(中間処理)⇒補助燃料、堆肥 金属くず:委託処理(中間処理)⇒原料 ガラス・コンクリート・陶磁器くず:委託処理(中間処理)⇒原料



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長 (廃棄物処理統括責任者)

↓

保全課 課長

↓

環境保全チーム 主任 (廃棄物担当責任者)

↓

ポテトチップス製造課

↓

主任・班長

じゃがりこ製造課

↓

主任・班長

J B製造課

↓

主任・班長

生産支援課

↓

主任

品質保証課 (課長)

↓

主任

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2022年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥
排 出 量	3, 690. 7 t	1486. 4 t

(これまでに実施した取組)
原単位を削減し、総排出量を抑制する。
動植物性残さ：ロス削減、廃棄製品削減 (重大不適合、在庫の削減)
汚泥：脱水汚泥乾燥機による排出量の削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
排 出 量	3, 600. 0 t	1, 300. 0 t

(今後実施する予定の取組)
動植物性残さ：昨年度と同様。
汚泥：脱水汚泥乾燥機の継続運用により排出量の削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
動植物性残さ：馬鈴薯残渣、生芋ロス、味材ロス、廃棄製品
汚泥：排水汚泥、調整槽堆積汚泥

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
昨年度と同様

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	全 処 理 委 託 量	3, 690. 7 t t	1486. 4 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	25. 1 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3, 446. 0 t	1486. 4 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	14. 8 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	生産量が増加する中、原単位を削減し、総排出量を抑制する。 動植物性残さ：ロス削減、廃棄製品削減(重大不適合、在庫の削減) 汚泥:脱水機運転時間の延長(24h)と運転調整及び凝集剤の最適注入による更なる脱水ケーキ水分低減。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性算さ	汚泥
	全 処 理 委 託 量	3, 600. 0 t	1, 400. 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	50 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3, 500 t	1, 000. 0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	50 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 動植物性残さ：昨年度と同様。 汚泥：脱水汚泥乾燥機の継続運用により排出量の削減		
(事務処理欄)			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <pre> 工場長(廃棄物処理統括責任者) ↓ 保全課 課長 ↓ 環境保全チーム 主任(廃棄物担当責任者) ↓ ポテトチップス製造課 じゃがりこ製造課 J B生産課 生産支援課 品質保証課(課長) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 主任・班長 主任・班長 主任・班長 主任 主任 </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	85.3 t	1.4 t
	(これまでに実施した取組) 工程から排出される包装材ロスの削減 未使用フィルム資材の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	80.0 t	2.0 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度と同様		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：廃フィルム、廃ビニール、硬質プラ、廃カップ		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 昨年度と同様		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全 処 理 委 託 量	85.3 t	1.4 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	85.3 t	1.4 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 工程から排出される包装材ロスの削減 未使用フィルム資材の削減		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全 処 理 委 託 量	85.0 t	2.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	85.0 t	2.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度と同様		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 工場長(廃棄物処理統括責任者) ↓ 保全課 課長 ↓ 環境保全チーム 主任(廃棄物担当責任者) ↓ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> ポテトチップス製造課 ↓ 主任・班長 </div> <div style="text-align: center;"> じゃがりこ製造課 ↓ 主任・班長 </div> <div style="text-align: center;"> J B製造課 ↓ 主任・班長 </div> <div style="text-align: center;"> 生産支援課 ↓ 主任 </div> <div style="text-align: center;"> 品質保証課(課長) ↓ 主任 </div> </div> </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排 出 量	1.6 t	2.7 t
	(これまでに実施した取組) 破砕・圧縮		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排 出 量	1 t	2.0 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度と同様		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃アルカリ：品管廃液 ガラス・コンクリート・陶磁器くず：蛍光灯、ガラスケール、薬品容器、実験器具		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 昨年度と同様		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	1.1 t	1.9 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1.1 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	0 t	1.9 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	1.1 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 破碎・圧縮		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	1.0 t	1.8 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	1.8 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	1.0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度と同様		
※事務処理欄			